

エコアクション21

環境経営活動レポート

(2023年7月1日～2024年6月30日)

(2023年度)



2024年 9月 26日発行

有限会社 宇佐美



かわさきSDGs
ゴールドパートナー

（川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。）

「かわさきSDGsゴールドパートナー」

認 証 書

事業者名称	有限会社宇佐美
認 証 日	令和4年8月24日
有効期限日	令和7年8月23日

貴社・貴団体を「かわさきSDGsゴールドパートナー」として認証します

川崎市長 福田 紀彦



1. 組織の概要	P.4
2. 対象範囲	P.4
3. 環境管理体制	P.5
4. 許可内容	P.6 P.7
5. 車両等の台数	P.7
6. 環境経営方針	P.8
7. (基準年の環境負荷と) 環境経営目標	P.9
8. 環境経営計画の内容	P.10 P.11
9. 環境経営計画、環境経営目標の実績及び環境経営計画の 取組結果とその評価並びに次年度の取組内容	P.12 P.13
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.14
11. 代表者による全体の評価と見直し	P.15

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

有限会社 宇佐美
代表取締役 宇佐美 正徳

(2) 所在地

神奈川県川崎市幸区南加瀬2-28-20

(3) 法人設立年月日

2001年 7月 3日

(4) 資本金

500万円

(5) 事業活動の内容

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、再生資源回収業、
金属くず商、フロン回収業

(6) 事業の規模

	2020年度 (20/7月～ 21/6月)	2022年度 (22/7月～ 23/6月)	2023年度 (23/7月～ 24/6月)
売上高 (百万円)	411.8	449.0	527.0
産廃収集運搬量(T)	3,634	2908.6	4747.3
一廃収集運搬量(T)	913	604.0	722
再生資源の回収・収集		924	397
フロン回収量(kg)	359.3	159	177
従業員数 (人)	34	35	37
延床面積 (m ²)	75.85	75.85	75.85

(7) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 加藤 智久 e-mail katou@usm.co.jp
電話 044-588-1885 FAX 044-588-7472

2. 対象範囲

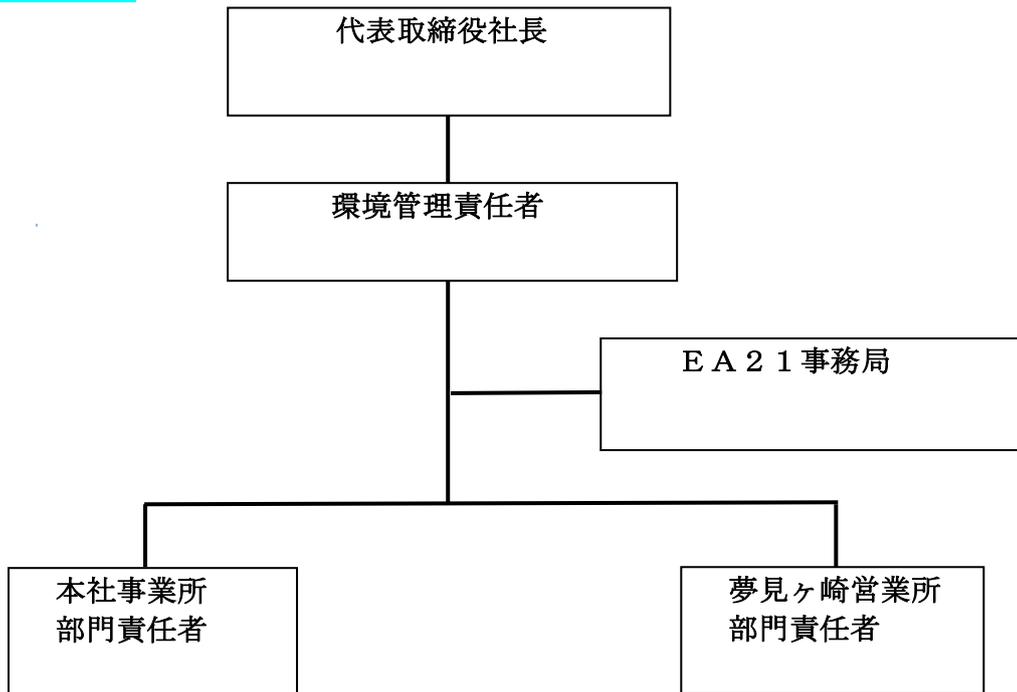
(1) 認証・登録対象組織

本社事業所 : 神奈川県川崎市幸区南加瀬2-28-20
夢見ヶ崎営業所 : 神奈川県川崎市幸区南加瀬2-1-38アフィニティ夢見1番館102

(2) 認証・登録対象活動

本社事業所及び夢見ヶ崎営業所で行う全ての業務

3. 環境管理体制



役職	責任及び権限
代表取締役社長	1、 環境管理責任者の任命 2、 環境方針の制定 3、 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4、 環境経営システムの定期的見直しの実施 5、 社内情報の外部公開可否決定 6、 経営における課題とチャンスを整理し明確にする
環境管理責任者	1、 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2、 社長への環境経営システムの実施状況報告 3、 EA21の事務局の責任者として事務局運営 4、 それぞれの業務、役割に応じ、必要な教育、訓練を適切に計画、実施 5、 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6、 環境関連文書及び記録の作成、整理
EA21事務局	1、 環境負荷の自己チェック及環境への取組の自己チェックの実施 2、 環境目標、環境活動計画書原案の作成 3、 環境活動の実績集計 4、 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 5、 環境関連外部コミュニケーションの窓口 6、 環境活動レポートの作成
部門責任者	1、 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2、 環境上の緊急事態への準備及び対応
全従業員	1、 環境方針の理解及び環境への取組の理解と自覚 2、 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動への参加

4. 許可の内容

(1) 許可一覧

①一般廃棄物収集運搬業（積替保管行為を除く）

一般廃棄物収集運搬業		
自治体名	許可番号	許可年月日
		有効期限
川崎市	第0153号	令和 5.12. 1
		令和 7.11.30

②産業廃棄物収集運搬業（積替保管行為を除く）

産業廃棄物収集運搬業			燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器屑	鉱さい	がれき類	ばいじん
自治体名	許可番号	許可年月日																
		有効期限																
神奈川県	01406079990	令和 3.12.16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和 8.10.31																
東京都	01300079990	令和 3.10.15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和 8.10.14																
埼玉県	01101079990	令和 4. 3.25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
		令和 9. 3.24																
千葉県	01200079990	平成 31. 3.19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和 10.12. 8																
群馬県	010000079990	平成 31. 2.19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和 11. 2.18																
山梨県	01900079990	令和 1.11.11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和 11.11.10																
茨城県	00801079990	令和 2. 4.17	/	○	○	/	/	○	○	○	○	○	/	○	○	/	○	/
		令和 12. 1.18																
静岡県	02201079990	平成 30. 8.13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	/	○	/
		令和 10. 8.12																

③フロン回収

自治体名	許可番号	許可日	有効期限	許可内容
川崎市	20572000314	令和 7. 4.20	令和 7. 4.19	自動車リサイクル法登録・フロン回収業
神奈川県	第1-1453	平成 24. 9.11	令和 9. 9.10	第一種フロン類回収業者
東京都	13102887	平成 19. 9.20	令和 9. 9.19	第一種フロン類回収業者
埼玉県	19140097	平成 24. 9.25	令和 9. 9.24	第一種フロン類回収業者
千葉県	12A141841	平成 24. 9.26	令和 9. 9.25	第一種フロン類回収業者
山梨県	1466	令和 1. 5.29	令和 11. 5.28	第一種フロン類回収業者
群馬県	102381	令和 4. 5. 6	令和 9. 5. 6	第一種フロン類回収業者

5. 車両等の台数

事業所名	コンテナ車 (台)	平ボデー (台)	パッカー (台)	クレーン車 (台)	フォークリ フト(台)	乗用車 (台)
本 社 事業所	5	2	9	3	1	4
夢見ヶ崎 営業所	0	0	14	0	0	0
計	5	2	21	3	1	4

6. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

循環型社会の実現を目指して、常に「もったいない」という気持ちを持ち続け、廃棄物の適正処理リサイクルを通じて、社会に貢献できる企業を目指します。

環境方針

有限会社 宇佐美は、限りある資源を次の世代に伝えるために、社員一丸となって環境保全活動を邁進します。

行動指針

- (1) 電気、ガソリン等の省エネルギーを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。
- (2) 分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルによる資源化を推進します。
- (3) 適正使用による節水を推進し、総排水量を削減します。
- (4) 環境にやさしい物品の購入に努めます。
- (5) 環境経営の継続的な改善を行うように努めます。
- (6) 事業活動に関連する法規を遵守します。
- (7) 廃棄物の収集を徹底し、取りこぼし削減に努めます。
- (8) この環境方針を全従業員に周知するとともに、環境教育を実施して、環境保全意識の向上に努めます。

2017年 8月 1日制定

有限会社 宇佐美

代表取締役 宇佐美 正徳

7. 基準年の環境負荷と環境経営目標

環境 目 標	項目	基準年(実績)	年度(中期)目標		
		2020年度 20/7~21/6	2023年度 23/7~24/6	2024年度 24/7~25/6	2025年度 25/7~26/6
		基準年	基準から 3%削減	基準から 4%削減	基準から 5%削減
1. 二酸化炭素排出量削減	CO ₂ 総量 kg-CO ₂	261,850	253,994	251,376	248,757
① 電力使用量の削減	電力使用量 kWh	10,833	10,508	10,399	10,291
	CO ₂ kg-CO ₂	5,319	5,159	5,106	5,053
② 燃料(ガソリン)使用量の削減	ガソリン使用量 (L)	2,327 (2023年より変更)	基準から 1%削減 2,303	基準から 2%削減 2,280	基準から 3%削減 2,257
	kg-CO ₂	5,398.6	5,344.6	5,290.6	5,236.6
③ 燃料(軽油)使用量の削減	軽油使用量 (L)	92,365	89,594	88,670	87,746
	CO ₂ kg-CO ₂	242,398	235,126	232,702	230,278
④ 燃料(灯油)使用量の削減	灯油使用量 (L)	18	18	基準値 18	基準値 18
	CO ₂ kg-CO ₂	40	40	基準値 40	基準値 40

2. 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量(kg)	基準値 2,880	基準から 3%削減 2,794	基準から 4%削減 2765	基準から 5%削減 2736
3. 産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量(袋)	基準値 288	基準から 3%削減 279	基準から 4%削減 276	基準から 5%削減 274
4. 水使用量の削減	節水の励行	基準値 714	基準から 3%削減 692	基準から 4%削減 685	基準から 5%削減 678
5. 廃棄物収集取りこぼし数の減少	収集取りこぼし数	基準値 54	基準値 54	基準値 54	基準値 54

※CO₂排出係数は0.491kg-CO₂を使用。

※当社は化学物質は扱っていない。

8. 環境経営計画の内容(2023年度及び2024年度)

当社の環境保全に向けた具体的な取組の内容を以下に示します。

1 二酸化炭素排出量削減

1- (1) 電気使用量の削減

- ・使用していない照明やパソコンを消すことによる電力使用量の抑制
- ・冷暖房の温度の設定管理
- ・照明器具をLEDに交換

1- (2) 燃料(ガソリン)使用量の削減

- ・エコドライブの徹底
- ・アイドリングストップの励行
- ・適正な車両の整備

1- (3) 燃料(軽油)使用量の削減

- ・エコドライブの徹底
- ・アイドリングストップの励行
- ・適正な車両、重機の整備

- 1-(4) 燃料(灯油)使用料の削減
 - ・暖房器具の使用の抑制、及び適切な温度設定
 - ・暖房器具の清掃等適切な維持管理

- 1-(5) 液化石油ガスの削減
 - ・不必要な使用の抑制
 - ・消費量に見合った購入量の徹底

- 2 一般廃棄物排出量の削減
 - ・廃棄物の分別の徹底
 - ・コピー用紙の裏紙利用

- 3 産業廃棄物排出量の削減
 - ・廃棄物の分別の徹底
 - ・エコバック等を使用してビニールの削減

- 4 水使用量の削減
 - ・洗車時節水意識の喚起
 - ・節水表示板の設置

- 5 廃棄物収集取りこぼし数の減少
 - ・収集ルート事前打合せの徹底
 - ・可能な限りの定時定点収集

9. 環境経営計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果とその評価（2023年7月～2024年6月）			
	環境目標 3%削減	実績	達成 区分	評価及び 次年度の取組内容
1. CO ₂ 削減	253,994 kg-CO ₂ .	221,839 kg-CO ₂	○	CO ₂ 排出の割合の多い軽油使用量が減少傾向 次年度は車両増加に伴い使用量増加が考えられる。メンテナンス、ふんわりアクセルの指導をする
① 電力使用量削減 ・不使用の照明やパソコンの電源OFF ・エアコンの温度管理 ・エアコンフィルターの清掃	10,508 kWh	10,428 kWh	○	常時エアコンを稼働しつつ空気循環をしていたことと思われる。 照明のオンオフ、エアコンの温度管理の周知、こまめな清掃をする
② 燃料(ガソリン)使用量削減 ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの励行 ・適正な車両の整備	2,303 L (目標値変更)	1,716 L	○	客先へのルートの見直し、アイドリングストップによる効果と思われる。 ガソリン車増車もありよりエコドライブの徹底、車両整備をしていく
③ 燃料(軽油)使用量削減 ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの励行 ・適正な車両、重機の整備	89,594 L	81,386 L	○	車両の整備点検およびアイドリングストップによる効果と思われる。 エコドライブの徹底、アイドリングストップを心掛けていく
④ 燃料(灯油)使用料の削減 ・暖房器具の使用の抑制、及び適切な温度設定 ・暖房器具の清掃等適切な維持管理	18 L	18 L	○	今年度は灯油購入はなかったがエアコンより暖房効果があるため購入予定。 電気使用量削減のため増加している。こまめな清掃を心掛ける
⑤ 液化石油ガスの削減 ・不必要な使用の抑制 ・消費量に見合った購入量の徹底	7.7 m ³	8.6 m ³	×	ほぼ基本使用量ではあるがガスはほぼ横ばいにあるが不必要な使用はしない

2. 一般廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底 ・排出量の測定	2,793 kg	2,610 kg	○	一般廃棄物と再利用できるものをしっかり分別できている 分別の徹底を継続する
3. 産業廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底 ・排出量の測定	279 袋	252 袋	○	一般廃棄物の分別を行っているので一定量は排出される 継続して分別の徹底をしていく
4. 水使用量削減 ・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	692 m ³	525 m ³	○	車両整備、洗車が多くなり増加したものと思われる。 節水、出しっぱなしなどがないように注意する
5. 廃棄物収集取りこぼし数の減少	54 件以下	48 件	○	未収は減少傾向にある 地図をみて回収する ゆっくり確実に回収する

○:目標達成、×:目標未達

是正処置・次年度の取組留意事項

<電気使用量削減について>

継続した不必要な照明等のオンオフ、エアコン温度設定を+1℃を心掛ける

室内灯のLED化を実施する

次年度以降は事務所を1つ借りる為、電気使用量は増加の見込

<水使用量削減について>

軽油、ガソリン使用について

今年度は2台増車し1台減車(旧型)した、また、今年度よりさらに

車両が4台増車されるため特に軽油は多くなる見込み。

ガソリンも1台増車のため、使用量は増えると考えられる

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

承認	確認者
宇佐美	加藤

2023年7月24日

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	確認	確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付及び5年間の保管 収集運搬時基準等第7条2の2の遵守、都道府県知事の許可、5年ごとの更新	○	7月20日
自動車 NOX・PM法	使用車両の窒素酸化物排出基準、粒子状物質は排出基準に適合車の使用	○	7月20日
オフロード法	バックホウ、フォークリフト等のオフロード車の適合車使用	○	7月20日
下水道法	排出基準の遵守	○	7月20日
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処理	○	7月20日
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の適正処理	○	7月21日
フロン排出抑制法	第I種フロン類の適正な引き取り及び引渡し フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律を遵守	○	7月21日
	フロン類の運搬に関する基準の遵守	○	7月21日
川崎市公害防止等生活環境の保全等に関する条例	指定事業所における公害・悪臭・水質汚濁・騒音・振動の防止、規制基準・測定記録保存、環境への負荷の低減、温室効果ガス排出の抑制、環境の保全に係る組織体制の確立	○	7月22日

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反及び訴訟はありませんでした。また、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

11.代表者による全体の評価と見直し

令和7年4月より3台分の委託業務が始まるに伴い4台の車両が増車となります。

ここ数年は毎年のように増車があり、燃料使用量は単純に増加することが考えられます。

また、令和6年11月より定期回収先に山梨県甲府南の現場もでき、走行距離の長い取引先が増え、合わせて燃料使用量の増加の一因になると思います。

引き続き、ドライバー全員のエコドライブ意識の徹底に努めます。車両台数、走行距離に見合う燃料使用量に収まるか検証は必要である。

増車に伴いコンプライアンス対応に力をいれる必要があります。

遠方運転に伴う時間外労働が無理のない範囲で行えるような工夫も必要になります。

増車、増員に伴う混乱が起きないようにするための自主規制、自主管理をさらに綿密に注意深く行っていく必要があります。

永年、働いてくれる社員は大事な宝ではあるが、年々年をもらっていく。

新しい戦力となる社員を育て5年後、10年後と先を見据えた教育を本年は

力をいれていく。